

自然体験的な活動後の児童の意識分析について

日比野利弘

Analysis of children's consciousness after experiencing activities relating to nature

Toshihiro HIBINO

1. はじめに

岐阜県博物館は、岐阜県百年公園内にある総合博物館である。そのため、来館する学校団体の主要な目的は、里山の風景を残す公園内での自然とのふれあいである。事前の打ち合わせでも、展示物の見学と同等に野外での自然体験的な活動を希望される学校が多い。

そこで、野外の活動を積極的に実践できるような活動を新たに開発してきた。しかし、児童の反応や活動の評価について、明確にすることが難しく、見直しの材料が不明確になりやすい。

ここでは、活動後の児童の意識を、学校からいただいたお礼の手紙を通して分析しようと試みた。

2. 自然体験的な活動内容

秋になると低学年の社会見学は、「秋みつけをしよう」という生活科の学習内容を希望されることが非常に多い。今年度、そのニーズに応える活動を開発した。本研究で扱う自然体験的な活動は、2年生が行う「秋みつけをしよう」というプログラムである。

(1) 活動の場所



写真1 百年公園内の活動場所

低学年の野外活動は、特に安全性を重視する。この「秋みつけをしよう」の活動も、教師が児童の行動を把

握できる場所を設定した。ここは芝生の公園内で、ケヤキ・イロハモミジ・トチノキ・クスノキ・アメリカフウ・ナンキンハゼなどが見られ、秋になると紅葉が素晴らしい。また、コナラ・アベマキなどの実をたくさん拾うことのできる場所である。

(2) 対象学年

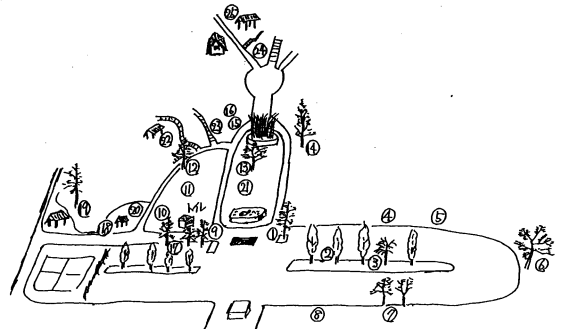
第2学年

(3) 問題用紙

前述した活動場所の特徴を生かした活動内容にした。下記の用紙は、活動に使用する問題用紙の一部である。

2年生 「秋みつけをしよう」問題用紙
名前()

番号	問 題	
14	アベマキのドングリのぼうしを見たら○をつけよう。	
15	なぜぞぞです。小さなきいろいうちわはなんの葉かな?	
16	このあたりでドングリのぼうしを2つひろってきましょう。	
17	この木はなんという名前の木ですか。近くの木に書いてあるよ。	
18	この木はどんな木ようですか。ただしいものに○をつけよう。	
19	このあたりに小さなドングリがおちています。2つひろってきましょう。	
20	このあたりでピンク色の花を1つとってきましょう。	
21	にせものをさがせ! 4つのにせものはなんでしょう。	
	① ② ③ ④	
22	木のはだをさわってみよう。どんなかんじがしますか。	
23	木にまきついている草をさわったら○をつけましょう。	
24	葉をさわるとどんなかんじがしますか。	
25	このようなドングリを3こひろってきましょう。	



(4) 問題の内容 (漢字にはよみがなをつけた)

1番: あながあまりあいていない (虫が食っていない)
葉を1まいとってきましょう。

- 2番：ほしのような赤い葉を1まいとってきましょう。
- 3番：このあたりで、うなぎのかたちをした長い葉を1まいとってきましょう。
- 4番：鳥の声をきいたら○をつけましょう。
- 5番：花がさいています。なに色の花でしょう。
- 6番：小さいドングリ（スダジイの実）を2つとってきましょう。食べられるよ。
- 7番：木のはだをさわって、かんそうをかきましょう。
- 8番：このあたりで2色のクモをみつけよう。黒と何色でしょう。
- 9番：木を見ると実がついています。何色の実ですか。
- 10番：このあたりで赤い葉を1まいひろってきましょう。
- 11番：虫をみつけたら○をつけましょう。
- 12番：まるい形のおち葉を2まいひろってきましょう。
- 13番：木の皮がはがれそうです。下におちている皮を1つひろってきましょう。
- 14番：アベマキのドングリのぼうしを見たら○をつけよう。
- 15番：なぜなのでしょう。小さなきいろいうちわはなんの葉かな？
- 16番：このあたりでドングリのぼうしを2つひろってきましょう。
- 17番：この木はなんという名前の木ですか。近くの木にかいてあるよ。
- 18番：この木はどんなもようですか。ただしものに○をつけよう。
- 19番：このあたりで小さなドングリがおちています。2つひろってきましょう。
- 20番：このあたりでピンク色の花を1つとってきましょう。
- 21番：にせものをさがせ！4つのにせものは何でしょう。
- 22番：木のはだをさわってみよう。どんなかんじがしますか。
- 23番：木にまきついている草をさわったら○をつけましょう。
- 24番：葉をさわるとどんなかんじがしますか。
- 25番：このようなドングリを3こひろってきましょう。
ドングリや落ち葉などを拾ってくる問題は、1・2・3・6・10・12・13・16・19・20・25番の11問である。
このような活動を通して、拾ったり、手で触ったりしながら、秋になって変化した生き物たちを知ることをねらっている。また、2年生の実態から、問題の設置場所は、絵地図に示すようにした。ここでは、絵地図の場所に実際に立って、地図の見方を丁寧に指導することが重要である。

3. 活動時における児童の様相

10月29日(水)に来館したN小学校2年生53名が、どのような様相であったか述べる。

活動前に次の3つのことを約束として決めた。

- ・グループで行動する。
 - ・全員が自分の問題用紙に記入したり、自然物を拾ったりする。
 - ・範囲以外の場所には行かない。
- また、オリエンテーションとして、植物に関わる話を2つして動機づけとした。

ア、クスノキの葉を1枚ずつ渡して、臭いのする葉があることを知らせた。

イ、スダジイを見せて、食べられる実であることを知らせた。



写真2 活動前のオリエンテーション

Hさんの手紙には、次のような文が書かれていた。

百年公園で、N小学校の子のために、ゲームを考えてくれてありがとう。今までで一番楽しい社会見学でした。ありがとう。いろいろな秋を見たりひろったりできました。

「秋みつけをしよう」という活動が達成された文である。子どもたちは公園内を飛び回ってにこにこしながら取り組んでいた。ここでは、特徴的な様相を述べる。

- ・問題番号が設置してある場所を、どの子も走りながら楽しく探していた。
- ・物を拾ってくる問題が多いので、一人一人がビニール袋を持ち、生き生きと活動に参加していた。
- ・生活科の発展的な活動だけでなく、21番のような環境学習に関わるものも楽しく取り組んでいた。
- ・どのグループも、グループ行動をきちんととっていた。
- ・22番や24番などのように、手触りの問題は感じ方が違うので、グループで交流する姿が多く見られた。

- ・時間を精一杯探そうとする姿が、どのグループにも見られた。

4. 児童の手紙による意識分析

(1) 内容の分類化

- ①子どもの意識が表れている文章内容を全て取り出し、同じ意識のものをまとめていく。
- ②用紙にまとめ、それらが全体の何%をしめるかを調べる。
- ③データから考察する。

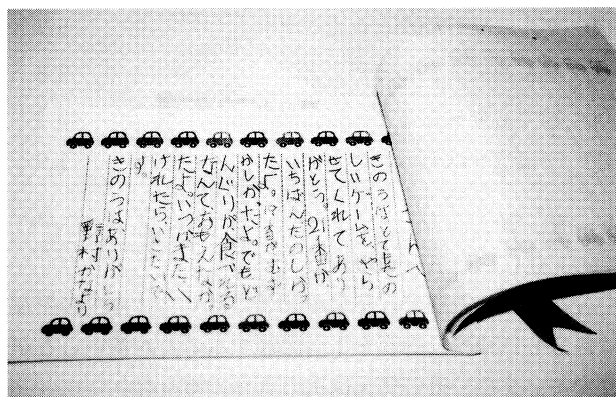


写真3 N小学校からいただいた手紙集

(2) 分類した意識内容

文章から拾い出した内容は、グループとして分類することができた。それらの内容をまとめると、「活動して楽しかったこと」「発見したことやびっくりしたこと」「博物館の担当者に感謝していること」「活動して難しかったこと」「自然の美しさや素晴らしさを感じ取ったこと」「グループ行動がとれたこと」「解答数にこだわったこと」「家でもやったこと」「幸福感を味わったこと」の9個に分類できた。それらの内容を原文にしたがって列挙する。

①活動の楽しさ

- ・一番おもしろかったのは、にせものをさがすゲームです。わけは、草の間のところににせものの草があったからです。わたしは、どれがほんものかさっぱりわかりませんでした。(11名)
- ・ゲームがおわったら、もう一かいやりたいなと思いました。(4名)
- ・なんかもう1かいいきたいくなるほど楽しかったです。(3名)
- ・いままでで一番楽しい社会見学でした。
- ・このゲームはわすれられないくらい楽しかったです。
- ・10/29はとてもうれしい日でした。ゲームをしながらおちばをひろったら、いっぱいのおふくろになってしまいました。

- ・ぼくは、13もんめの下におちた木のかわをひろうものがおもしろかったよ。ぜんぶできたし、ぜんぶおもしろかったからうれしかった。
- ・はじめはすごくむずかしいとおもったけど、やっているうちにかんたんだなとおもったよ。わけは、ぜんぶ木の下にあったからだよ。ほんとうにたのしかったので、またやりたいです。



写真4 11番での子どもの様相

②発見

- ・びっくりしたことは、どんぐりが食べられるなんてしらなかったよ。(9名)
- ・百年公園のしらなかったところまでしました。
- ・いろんなはっぱや、きのみのしゅるいなどがいっぱいあったのでびっくりしました。
- ・25番のところにおちていたどんぐりは、ほそながかったよ。
- ・はじめは木のかわなんておちるのかなと思って行ったら、ほんとうに木のかわがはがれておちていたので、びっくりしました。

③職員への想い

- ・1や2や3やいろいろなばんごうを木にたくさんかけてくれてありがとう。(3名)
- ・何を作ってどこにおこうかと、たいへんだったでしょう。おかげでたのしかったですよ。
- ・わざわざ25もんもつくってくれてありがとうございます。ぼくはぜんぶできました。
- ・ぼくたちのためにゲームとかを考えてくれてありがとう。ぼくはとてつつかれてくたびれるぐらいたいへんだったよ。

④活動の難しさ

- ・1～25番までまわったなかで、6番が一番むずかしかったよ。
- ・いろいろまわったなかで21ばんが、一ばんむずかしかったよ。

- ・むずかしかったのは、虫のこえをきいたら○をうつゲームがむずかしかったです。あとドングリのぼうしを見つけるのもむずかしかったです。わけは、ドングリのぼうしとじめんの色が、おなじだったので、みつけにくかったです。
 - ・一番むずかしかったもんだいは、25のもんだいだったよ。
 - ・ぼくはまちがいをさがすところがむずかしかったよ。
 - ・19番がむずかしかったよ。
- ⑤自然の美しさや素晴らしさ
- ・しぜんには、とてもきれいなものやすごいものがいっぱいですね。
 - ・百年公園のあきは、とてもきれいでした。いろいろなあきが見つかって、とてもおもしろかったです。どんぐりやおもしろい形のはっぱがあって、ちがうせかいにきたようなあきでした。
 - ・とおいにみえる赤と白の花もきれいでした。あの花は天ごくの花みたいにきれいでした。
 - ・つぎのもんだいは、白とピンク色のはなをさがせというもんだいでした。足もとにあるとおもったら、おはなばたけみたいなところにありました。わたしは、とってもきれいだと思いました。いろんなあきが見つけたのでよかったです。
 - ・もみじの木もたくさんあって、はっぱがいっぱいおちてきて、まるでさくらみたいでした。
- ⑥グループ行動
- ・わたしたちのグループは、ぜんぶまわられました。
 - ・たくさんゲームが、グループでなかよくたくさんまわれたからよかった。
 - ・わたしは、がんばれたのが一番よかったと思いました。わけは、はんのチームワークもよかったし、あいさつやお話の聞き方がよかったからです。
- ⑦解答数
- ・25番までぜんぶできました。
 - ・わたしはゲームはすこしだけだと思ったけど、25もんもあってびっくりしました。25もんぜんぶやれたよ。
- ⑧家でもやった
- ・おうちへかえって、どんぐりの小さいしゅるいのみを食べたよ。ほそながいしゅるいのみも食べたよ。くりみたいだったよ。あまくておいしかったよ。
 - ・いえのまわりのあきのものをみつけたよ。
- ⑨幸福感
- ・とちゅうでいいにおいがして、そのにおいははっぱだったので、しあわせな気持ちでした。

(3) 内容の分析

53名の記載から、各分類項目にしたがって記載数を百分率で示す。

	分類項目	記載数 %
①	活動して楽しかったこと	47.2
②	発見したことやびっくりしたこと	24.5
③	博物館の担当者に感謝していること	13.2
④	活動して難しかったこと	11.3
⑤	自然の美しさや素晴らしさを感じ取ったこと	9.4
⑥	グループ行動がとれたこと	5.7
⑦	解答数にこだわったこと	3.8
⑧	家でもやったこと	3.8
⑨	幸福感を味わったこと	1.9

5. 考察

(1) 記述における分類の重複

分類項目の重複者は53名中10名であり、2年生の児童は最も心に残った内容を1つ記述することが多いことが分かる。また、その状況は次のようであった。

①と②の重複者は、6名。①と③、②と③、②と⑤、②と⑥の重複者が、それぞれ1名ずつであった。重複記載の多くは、楽しかったことと新しく発見したことが心に残ったのである。

(2) 自然体験後の意識

活動の楽しさが最も意識に残りやすい。特に、①の記述内容を分析すると、最も印象に残ったゲーム（にせものをさがせ！）を記述するか、全体として楽しかったという印象を記述している。

一般的に、活動の楽しさや難しさを記述することが多いが、本調査では、9種類の内容項目を見つけることができた。特に、発見や職員への想い・グループ行動など意識の中にあるものを明確にすることができた。

6. 今後の課題

- ・把握した意識から、今後はさらに活動の工夫や開発に生かしていきたい。
- ・自然体験活動後の児童の意識を2年生という学年で調査したが、来館する学校団体では1年生も多いので、その他の調査方法も考えていきたい。
- ・展示物を活用した活動での意識調査もしたい。

参考文献

平成13年度 親しむ博物館づくり事業実施事例集
文部科学省生涯学習政策局社会教育課